

仙北市DX推進ラボ

事業の内容

事業目的・概要

- 仙北市は、平成27年8月の国家戦略特区の指定以降、先進技術等で地域課題の解決に取り組んできている。令和4年3月には、DXの推進のため「仙北市DX推進計画」を策定している。
- DXの推進により、地域の経済発展と市民のウェルビーイング向上を達成し、「幸福度全国NO.1のまち」の実現を目指す。

重要業績評価指標（KPI）

- 企業支援等の近未来技術実証ワンストップセンターを活かした取り組みの活動量を図る指標と、その結果である地域経済が活性化されることによる雇用の維持・創出等を図る指標をKPIとする。
- 特区事業認定数(累計)・・・12件 近未来技術実証件数(累計)・・・7件
ハローワーク角館就職件数・・・1,000件（令和7年までに）

今後の展開

- 開始フェーズで各種交付金等を効果的に活用し、事業者・事業者団体等との連携で持続可能なビジネスモデルを構築する。
- 首都圏デジタル企業の誘致や地元企業とのマッチング・交流の機会の創出を行うことで、新たなビジネスシーズの創出を促す。

事務局

- 仙北市 総務部企画政策課

参加プレイヤー

- アステリア株式会社
- インスペック株式会社
- 田沢湖・角館観光協会
- 仙北市商工会
- 秋田県産業技術センター
- 国立大学法人秋田大学
- 秋田銀行、北都銀行
- NPO法人きたうら花ねっと 他

事業イメージ

